

一人一人の『もったいない』の心が
世界中に大きな輪を広げます。
不思議な生き物と動物達との物語。

MOTTAINAI

もったいない

製作・著作
アニメーション画房わ組
ジャパンホームビデオ(株)

アニメーション22分
16mm価格 ¥230,000(税込)
VHS・DVD価格 ¥63,000(税込)
学校価格 ¥31,500(税込)

有害ゴミ

衣類

燃えないゴミ

生ゴミ

空きかん

分ければ資源、捨てればゴミ あなたならどうしますか！

エコメルツ手法協会

燃えるゴミ

ペットボトル

古新聞
古雑誌

牛乳パック

食品トレイ

粗大ゴミ

あらすじ

ここは、木の実も果物も野菜も水も空気もとってもおいしい緑豊かな森『まんぶく森』にある『まんぶく村』です。カバの村長は、この村が平和で暮らせていられるのは、自分のお陰だと自慢です。村長の息子カバ君は、出された食事を残し、ママは『もったいない』と思うのですが、捨ててしまいます。ウサギちゃんは、着れなくなった服や、飽きてしまったおもちゃをゴミ箱へポイポイ。ママは『もったいない』と思うのですが、捨てることにします。リス君も、沢山食べて大きくなって欲しいと思うママの気持ちをよそに残してしまいます。ママは『もったいない』と思いながらもゴミ容器へ…。ゴミ収集のクマさんがやってきます。みんなが捨てたいっぱいのゴミを荷車に乗せ、森のはずれにある『ゴミ捨て谷』へ捨てに行きます。この谷は、ものすごく深く底が全く見えないのです。この谷にゴミを捨ててしまえば、村はきれいになると村長さんは思っているのです。ある日、カバ君、ウサギちゃん、リス君は、蝶を追って『ゴミ捨て谷』に迷い込みます。先頭のカバ君は、夢中になって蝶を追っているうちに、足を滑らせ、谷底へ落ちてしまいます。そこはとっても深い谷。カバ君の姿は、見えなくなってしまいました。ブルブルと震え、どうしていいのかバニくる2匹。しばらくするとカバ君は平気な顔をして谷底から戻ってきます。ビックリする2匹。すると、カバ君の背後に得体の知れない大きな物体が…。谷底に落ちたカバ君を助けてくれたのは、この大きな物体-ゴーミンだったのです。すっかり仲良くなり、村へ行って遊ぼうと誘うのです。大きな身体に乗って喜ぶ3匹。村に着くと、他の子供達も大喜び。大人達は、この得体の知れないゴミ袋のようなゴーミンを『まんぶく村』に入れるか、村議会を開き討論します。

カバ君を助けてくれたのに、汚らしいという理由で、村に入る事を禁じる結論を出します。ゴーミンの味方の子供達と大人達との間で大騒ぎになります。そんないざこざを見ていたゴーミンは、谷へ戻ると言い出します。喜ぶ大人達。悲しむ子供達。

ゴーミンが谷へ戻ってからはしばらくすると、『まんぶく森』の上空に黒雲が現れ、雨が降り出します。あの豊かな森は、ずーっと雨の中です。一ヶ月ほどたった頃から、村全体に広がる悪臭。きれいだった川は、濁り、捨てたはずのゴミが浮いて流れてきます。木の実や果物はしほみ、野菜も採れません。どうしてこんなことになったのかと困惑する大人達です。クマさんの報告で、『ゴミ捨て谷』がゴミで満タンになり、そのゴミが川や森に溢れてしまったからだと知ります。それを聞いていたカバ君は、ゴーミンを心配します。パパには内緒でウサギちゃん、リス君とクマさんの荷車に乗ってゴーミンを探しに行きます。

底が見えなかった『ゴミ捨て谷』には、溢れんばかりのゴミの山。カバ君はゴーミンを呼んでみます。するとかすかに聞こえるゴーミンの声。現れたゴーミンは、やせ細り、小さくなって顔つきも哀れです。『まんぶく村』に嫌われ悲しくなって食べられなくなり痩せてしまったとゴーミンは、ため息まじりで言います。実は『ゴミ捨て谷』に捨てられた村のゴミ全部をゴーミンが食べていたのです。その事を知った村長他大人達は、ゴーミンに今までの事を詫言、そしてお礼を言うのでした。元の『まんぶく森』の『まんぶく村』に戻すには、どうしたものかと頭をひねります。そして、みんなでゴミの出し方を考えたのでした。

●お問い合わせお申し込みは

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101